

伊藤市長(左)に五輪への決意を語った永井選手(中)と本多社長＝春日井市役所で

永井選手 五輪で「メダルを」



男子ホッケー代表 春日井市長に意気込み

春日井市の物流会社「ホンダロジコム」社員で、東京五輪の男子ホッケー代表に選出された永井祐真選手(26)が七日、同市役所を訪れ、伊藤太市長に大舞台への決意を語った。

永井選手は岐阜県出身でポジションは中盤のミッドフィルダー。高校時代にホッケーを始め、大学卒業後は一年間、オランダのプロチームで武者修行。現在は岐阜朝日クラブに所属する。ホンダロジコムには、同社が社会貢献事業としてスポーツ選手の支援を行っていた縁で昨年入社した。

クラブではレギュラーとして、昨年の国内主要大会三冠に貢献。二人の姉も五輪女子ホッケー代表に選出されており、三きょうだいそろって代表入りした。両

親も元日本代表という「ホッケー一家」だ。

この日は、同社の本多敦社長(50)らと訪問。永井選手は「今ホッケーができるのも支援してくれた人たち

のおかげ。メダルを取って恩返しをしたい」と意気込みを語った。伊藤市長は「五輪は選手なら誰もが憧れる舞台。これまでの努力に敬意を表します」と激励した。

(小林大晃)